

東西線の仮称駅名設定の経緯

東西線の仮称駅名については、平成 12 年度に駅の位置を決定した際に併せて仙台市が仮称駅名も設定し、公表をした。

(1) 仮称駅名の設定にあたっての考え方

- ① 駅名により駅の場所がほぼイメージできること。
- ② 市民に広く親しまれる名称であること。
- ③ 簡単明瞭、かつ発音しやすいこと。
- ④ 他鉄道駅の駅名等と混同しないこと。
- ⑤ 特別な理由がない限り私的名称は避けること。

(2) 各駅の仮称駅名

上記 (1) の考え方を基に、各駅の仮称駅名を以下のとおり設定した。

仮称駅名	理 由
どうぶつこうえん 動物公園駅	駅の北側に著名な公共施設の八木山動物公園があり、案内効果が高いことから、「動物公園」を採用した。
あおばやま 青葉山駅	荒巻字青葉に位置し、駅の隣接地には東北大学青葉山キャンパスがあることから、この地域一帯を表す名称として親しまれている「青葉山」を採用した。
かわうち 川内駅	川内と川内元支倉の境界に位置していることから、この地域を表す地名である「川内」を採用した。
こくさい 国際センター駅	付近は国際センター、博物館、仙台城跡、美術館、東北大学など多くの資源が集中するエリアであり、中でも、駅と近接した市の著名な公共施設の名をとり「国際センター」を採用した。
にしこうえん 西公園駅	大町二丁目・桜ヶ岡公園・片平一丁目・大手町の境界に位置しているが、桜の名所として市民に親しまれている西公園があり、案内効果が高いことから、「西公園」を採用した。
いちばんちょう 一番町駅	都心部の代表的な町名であり、サンモール一番町商店街に隣接していることから、「一番町」を採用した。
せんだい 仙台駅	既設地下鉄（南北線）と JR 仙台駅の接続駅であり、かつ両駅と隣接しており、乗継利用も多く見込まれるため、南北線及び JR 線と同一駅名の「仙台」を採用した。
しんてら 新寺駅	榴岡一丁目と四丁目の境界に位置しているが、駅から約 700m 北東に JR 仙石線榴ヶ岡駅があり、これと明確に区別できる名称が望ましいことから、付近の代表的な町名である「新寺」を採用した。
れんぼう 連坊駅	連坊二丁目と元茶畑の境界に位置しているが、付近には連坊一丁目や連坊小路もあることから、地域を表す代表的な町名である「連坊」を採用した。
やくしどう 薬師堂駅	駅の北西に国指定重要文化財の陸奥国分寺薬師堂があり、案内効果が大きいことから、「薬師堂」を採用した。
おろしまち 卸町駅	卸町一丁目・二丁目・大和町四丁目・五丁目の境界に位置しているが、仙台の卸・流通業の中心地である卸町の入口に当たることから、「卸町」を採用した。
ろくちょうめ 六丁の目駅	六丁の目西町・六丁の目中町・六丁の目元町・六丁の目南町の境界に位置していることから、この地域を表す地名である「六丁の目」を採用した。
あらい 荒井駅	荒井字沓形と荒井字東にまたがって位置していることから、この地域を表す地名である「荒井」を採用した。

